

消費生活

悪質商法にご用心

浄水器の点検から二次被害へ

事例

3日前「今から浄水器の点検に伺いたい」と女性の声で電話がかかってきた。てっきり、現在使用中の浄水器の会社からだと思込んで来てもらった。

来たのは女性と男性の2人で、浄水器の点検はすぐ終わった。そのあと、2人の販売員はパンフレットを広げて、フィルターのいらぬ浄水器の新製品を巧みなセールストークで勧めてきた。よくわからないまま断り切れず契約書にサインをしてしまった。

後で契約書を見たら、浄水器の代金は、クレジット総額54万円と高額であったし、使用中の浄水器の会社とは無関係の会社であることもわかった。解約したい。浄水器は取り付けてしまったが解約できるか。(78歳 女性)

アドバイス

最近、「浄水器の点検」で訪問し、新たに高額な浄水器を契約させる商法が増えています。この事例の場合は、契約して8日以内なので、浄水器をすでに取り付けていてもクーリング・オフにより無条件で解約ができます。取り付けた浄水器の取り外しや引き取りは、業者側の責任で行うことになります。

特定商取引法の改正で、訪問前に販売目的を告げることが事業者には義務づけられています。つまり、点検のためと言って消費者宅に上がり込み、何らかの契約をさせることは、法律違反です。

被害を防ぐために、ドアを開ける前に用件などを確かめましょう。いったんセールスマンを家の中に入れてしまうと、つい相手のペースに巻き込まれてしまいます。疑わしい勧誘は、きっぱりと断りましょう。

ご利用ください。消費生活相談

専門の相談員による相談を行っています。個人で対処しようとせず、相談をご利用ください。
■相談日/毎週水曜日(午前10時~午後4時)、毎週月・金曜日(午後1時~4時)
■相談場所/市民相談室(市役所1階)

土・日曜日の相談は

緊急的な土曜日・日曜日の消費生活電話相談窓口を開設しています。(京都府・京都市の共同事業)
土曜日・日曜日・午前10時~午後4時
☎257-9002、電話相談のみ

お問い合わせ 環境政策課市民安全係(内線249、235)

乙訓・八幡歴史ウォーク

~西国街道、東高野街道から乙訓・八幡の歴史を探る~



竹の径や西国街道、東高野街道から乙訓地域と八幡市の歴史を探る「乙訓・八幡歴史ウォーク」を開催します。

阪急洛西口駅、阪急大山崎駅、安居橋(八幡市)の3つの集合場所を出発する4つのコースがありますので、お好みのコースにご参加ください。

3月18日(土)小雨決行

受付時間/午前9時30分~10時30分

荒天の場合は、翌19日に延期

※参加中の事故については一切の責を負いませんので各自で十分ご注意ください。

お問い合わせ 乙訓・八幡歴史ウォーク実行委員会事務局(大山崎町経済環境室経済観光グループ) ☎956-2101

参加無料 ※ただし、入館料、運賃は参加者負担

【古墳と西国街道 ガラシャの里コース】

向日市→長岡京市(9.6km 2時間30分) 受付場所/阪急洛西口駅

【秀吉の道からガラシャの里コース】

大山崎町→長岡京市(10.5km 3時間30分) 受付場所/阪急大山崎駅

【三川浪漫コース】

大山崎町→八幡市(13.5km 4時間30分) 受付場所/阪急大山崎駅

【三川浪漫からガラシャの里コース】

八幡市→大山崎町→長岡京市(11.9km 4時間) 受付場所/安居橋(さざなみ公園)

■アンテナショップ■

乙訓・八幡各市町の特産物などの販売

■ウォーク達成記念品抽選■

アンケート回答者に、抽選でプレゼント

●場所/長岡天満宮、四季彩館

●時間/午前11時~午後4時

新着図書のご案内

今月の一冊

にわとりママとはじめてのたまご

■アンドレ・ダーハン作 ■講談社

にわとりママは、はじめての子、ならぬ、はじめての卵に大喜び。かわいい、かわいい、わたしの卵!

賢い卵に育てるために一生懸命。さて、その結果は…?

一般図書

- 私のバリ私のフランス 岸恵子著 講談社
● 小さな会社の労務トラブル「円満」解決法 石田仁著 日本実業出版社
● 特養ホームが変わる、特養ホームを変える 本間郁子著 岩波書店
● かんたん図解自作パソコン入門 佐々木康之著 技術評論社
● 手作り心で伝えるかわいい孫への贈り物 NHK出版編 日本放送出版協会
● フレンチ・シンプルレシピ 川上文代著 主婦と生活社
● ワールドカップが夢だった。 杉山茂樹著 ダイアモンド社
● 最後の恋 阿川佐和子・角田光代著 新潮社
● ズッコケ中年三人組 那須正幹著 ポプラ社
● 空海 三田誠広著 作品社
● 悪魔のヴァイオリン ジュール・グラッセ著 早川書房

児童図書

- 小学生のためのしごと大事典 梅沢しごとと研究所編著 竹書房
● 京都議定書がわかる絵事典 PHP研究所編 PHP研究所
● さあ、はじめよう!子どもクッキング 東京ガススキズインザキッチン特別編集 ベネッセムック
● テーブルがおかのこうめちゃん 末吉暁子作 岩崎書店
● 光の街 浅田宗一郎作 岩崎書店
● ぼくが地球をすくうのだ 石井キヨシ作 岩崎書店
● にげろや、にげろ ヘレン・アームストロング作 評論社
● その歌声は天にあふれる ジャミラ・ガヴィン作 徳間書店
● 4こうねんのぼく ひぐちとも作 草炎社
● きょうは ソンミのうちで キムチをつけるひ! チェ・インソン文 パン・ジョンファ絵 セーラー出版

お問い合わせ 図書館 ☎931-1181

歴史

むこうしの城と国衆

その12 西岡の「国」と向日神社での「国」の寄合

昨年4月から1年間、向日市内に残る中世の城跡と、その城主と思われる土豪・地侍たちを、順番にご紹介してきました。現在もはっきりとした遺構が残る物集女城跡の他にも、各地区ごとにかつて城館が存在していたこと、土豪の在り方は地区によって少しずつ違い、個性があることなどを、多くの方々に知っていただけたらと思います。

向日市域を含めた乙訓郡と、葛野郡の桂・川島付近をあわせた一帯は、中世には西岡(にしのおか)と呼

ばれていました。地区内でおさまることとは別に、特に農業用水の問題や、交通・交易など広い範囲に係わることは合同で対処する必要があり、相互に連携が深まってきました。

室町時代に入って、債務の破棄などを要求する一揆(いっき)がひんぱんにおこると、西岡は京都を攻める一揆勢力の代表格になりました。

一揆にあたって西岡の人々が集まった場所が、向日神社です。神の前で結束を固めたのです。文明12年(1480)の一揆の時に、「向大明神」で蜂起の相談をしたり、鐘を撞いたりしていることが、公家の山科家の日記に書かれています。

この時代、一つの地区のまとまりは「郷(ごう)」、いくつかの郷の集まりを「惣(そう)」、さらに広域のまとまりを「国(くに)」または「惣国(そうこく)」とい

いました。守護大名によって上から直接的に支配されることの少なかった西岡では、自治的な郷が発展し、応仁の乱が収束した後は、「国」と呼ばれる地域連合体が出現します。

ここで「国」の有力者に名を連ねたのが「国衆」、つまり物集女氏のような城館を構える地区のリーダーたちです。地侍らの合議支配体制が組織された「山城の国一揆」は、久世・綴喜・相楽の南山城三郡を舞台とし、教科書でも取り上げられて有名ですが、ここ西岡にも同じような動きがあったのです。そして国衆らが、西岡の「国」としての方針を決める会議をしたのも、やはり向日神社でした。

物集女城跡をはじめとする市内の城館跡や、向日神社の境内は、西岡国衆たちの遺跡であり、またこの地域の自治のシンボルともいえるものでしょう。



国衆たちの会議の場となった向日神社(2006年3月撮影)